

学校新聞

つなぐ

神奈川県立相模原養護学校

〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻814

Tel 042-778-0331 FAX 042-778-4957

web <http://www.sagamihara-sh.pen-kanagawa.ed.jp>

『世の中の仕組みを知る』

高等部学部長 小山 かおり

本校では、日常の授業を積み重ね、さらに学習を深めるために学校を離れて「校外学習」を行っています。高等部では9月に3年生と2年生がそれぞれ実施しました。

3年生は津久井の方にある「谷が原浄水場」へ行き、川の水を浄化して飲み水にする工程について学びました。水の中の汚れを薬品によって固めて取り除き、塩素で消毒したり、ろ過したりしてきれいにしていく様子を、敷地内を回りながら説明してもらいました。簡単な実験では、薬品による水の変化を集中して見ることができ、自発的な質問も出ました。最後に水道水の飲み比べをし、生物処理の緩速ろ過方式と薬品処理による急速ろ過方式の味の違いをみんなで当てました。

2年生は寒川の方にある「キリンビバレッジ」へ行きました。なじみのある「午後の紅茶」がどのように作られているか、品質管理のためにどんなことがなされているかなどについて学ぶことができました。店頭置く商品と自動販売機の商品ではペットボトルの強度が違うことや、印字の最後のアルファベットが製造工場を示すことなど、知らなかったこともありみんな興味を持って見学できました。クラス写真入りのラベルはよい記念になりました。

まもなく社会人となる高等部の皆さんが、身近な飲み物がどのように作られたり自分たちの元に届いたりしているかを知る、よい学習となりました。

『社会参加の経験を通して』

分教室長 松岡 民子

今年度橋本分教室は43名の生徒と共にスタートし、1学期、2学期と過ごしてきています。1学期は3年生の修学旅行、2年生の宿泊学習、1年生の橋本高校体育祭参加と学年それぞれの活動から始まりました。どれも学年でぎゅっと凝縮した時間となり、生徒同士のつながりの発見や感動がありました。6月の校内・産業現場実習は、今年度より2、3年生は3週間の取り組みとなりました。3年生は進路に向け、進みたい方向性を確実にしていくため、2年生は進路の選択肢や経験をひろげるため、多くの生徒が事業所等での実習に参加しました。1年生は2週間の期間で、事業所や企業の見学と、働くことへのイメージを持つため校内での実習を経験しました。今年度の校内実習作業は事業所さんからの箱折や詰め作業が多く、搬入搬出では50～100単位の段ボールを扱いました。弱音を吐いてしまいそうな時、軽々と、黙々と運ぶ先輩の姿を見て再び立ち上がっていった生徒もいました。

夏休み明けの9月は橋本高校の文化祭に参加するため、準備等で大忙しの1週間を過ごしました。ここ数年クレープとコーヒーの販売を行っています。喫茶室を作品展示で飾り、接客、調理の練習を経て当日を迎えました。今年もバーコードレジ機を使い、クレープ工場は休むことなく稼働。ちらし配付や案内呼び込み、お客様対応等、活気にあふれた2日間となりました。日々の学習で、自立と社会参加を意識し、一人ひとりが取り組むべきことと集団活動を支援しながら、教育活動を進めていきます。